

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 2 防霜対策特集号

1. 霜害にあいやすい時期です。『防霜対策』を徹底しよう！

◇ **発芽 10 日後頃（雌しべ長 2 mm 前後）** になると霜害にあいやすくなる

＜園芸農業研究所の生育状況＞

- ・ 発芽期 紅秀峰：3/23（前年 3/13：10 日遅い、平年 3/22：1 日遅い）
佐藤錦：3/29（前年 3/21：8 日遅い、平年 3/29：平年並）
- ・ 雌しべ長（3/30 現在）：紅秀峰：2.60mm、佐藤錦：1.75mm

※ 凍害による雌しべの枯死の多い園地もみられます（園地によるバラツキあり）

◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安

		
<p>発芽期頃 芽の先端に緑が出始めた頃 (雌しべ長: 1.3 mm 前後)</p>	<p>発芽 10 日後頃 花芽が膨らみ、はっきりと 緑が確認できる頃 (雌しべ長: 2 mm 前後)</p>	<p>発芽 15 日後頃 さらに膨らみ、花芽の半分くらい 緑(赤)になった頃 (雌しべ長: 3 mm 前後)</p>
<p>まだ被害が出にくい時期</p>	<p>この頃から 注意が必要</p>	<p>だんだん弱くなる</p>
		
<p>花芽が割れ始めた頃 (雌しべ長: 5 mm 前後)</p>	<p>開花前～開花始期 (雌しべ長: 6～8 mm)</p>	
<p>この時期が最も霜害に弱い！！</p>		

※ 「紅秀峰」は「佐藤錦」より外観、雌しべ長とも進みが早いので、特に注意！

2. 霜害にあいやすい条件

- ◇ ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ◇ ・雌しべの枯死がみられる園地

特に対策をしっかりと！

《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、
午後10時頃の気温が5℃以下

天気予報 + 自分で確認

3. 適切な方法で確実な防霜対策を！

※高温予想により生育が早まる恐れあり、早めの準備が必要。

【事前の準備】

- ◇ 気温の高い午前中にたっぷりかん水（土壌水分の確保）
- ◇ 地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く

【主な防霜対策】

（1）散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

（2）防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、
燃焼法を併用

（3）燃焼法



- ・「霜キラー」や「防霜ロウ」は10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前に火力が低下しないようにする

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8270

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8287

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局・農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課)